



公益財団法人 星総合病院

虹懸

特集

星総合病院 グラントオープン

ボラリス保健看護学院新校舎紹介
惜別 故星一雄会長
第84回集談会
認定看護師誕生
認知症医療センターの運営をスタート
甲状腺二次検査スタート
患者安全推進協議会地域フォーラム開催
施設ニュース
トピックス



女性 (F10、1950) 星 一雄

醫
靈

医療の発達によって日本は世界に誇る長寿国となりました。しかし救命率が上がった一方で障害や後遺症と向き合うことになり、退院を期に要介護となる場合も増えています。寿命が延びることは喜ばしい事です。しかし障害や後遺症と向き合い、退院後の人生をどのように生きていくか、介護をどうしていくかが今や切実な問題となつています。高度急性期医療はもちろん大切ですが、その後の人生を考えた医療、その方の生活の質を高める医療とのバランス、ここが課題と言えます。また一人に一人が癌になると言われている現代、入院治療はしたものの再発の恐れと闘いながら生活していくことになります。彼らは癌サバイバーと呼ばれ、検査や治療を繰り返しながら再発の不安と戦っています。急性期医療が入退院で終わっても、最期まで生き切るための医療やサポートが必要なのです。もちろん介護の問題もサポートの問題も医療だけでそれらをカバーする事はできません。全ての医療従事者がその人の人生の質を高める医療を想像することができ、その人の必要とするサポートに繋げる事ができるよう、介護や福祉などの適切な箇所につなぐ感性和能力が求められていると感じています。

星訪問看護ステーション
所長 戸崎亜紀子

＜醫靈＞靈をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

星総合病院 グランドオープン

今年の1月に新・星総合病院が開院後、ポラリス保健看護学院の移転新築工事をはじめ敷地内で進められていた工事が全て完成し、7月にグランドオープンを迎えました。



ポラリス保健看護学院
メグレスホール

2F かがやき健康館
1F ほしの子供館

外来棟

病棟

7月20日(土)

メグレスホールにて、ポラリス保健看護学院新校舎完成とグランドオープンを祝い、ご来賓の方々をお招きして盛大に記念式典を挙行政しました。



盛大に開催された記念式典



星北斗理事長挨拶



福島県副知事
村田文雄様による祝辞



郡山市長
品川萬里様による祝辞

来賓祝辞

横倉 義武様 公益社団法人日本医師会会長
坂本 すが様 公益社団法人日本看護協会会長
荒川真知子様 一般社団法人日本看護学校協議会会長

感謝状贈呈

設計業者 株式会社日建設計 様
施工業者 鹿島建設株式会社 様



全員で記念撮影



富岡町様が所有するグランドピアノをメグレスホールでお預かりさせていただくこととなり、富岡町ゆかりのお二方に、ピアノ演奏及び朗読を披露していただきました。

■朗 読

青木 淑子様

富岡町社会福祉協議会アドバイザー
元 富岡高等学校校長

■ピアノ演奏

四家 昌博様

仙台白百合女子大学 助教
元 富岡高等学校音楽講師



市内の小・中・高校生等による
「オープニングコンサート」

出演：郡山市立薫小学校合唱部
郡山市立金透小学校校奏部(管弦楽)
郡山市立郡山第四中学校吹奏楽部
郡山市立郡山第五中学校合唱部
郡山市立日和田中学校吹奏楽部
福島県立安積黎明高等学校クラシック部
柏原 悠様(東京音楽大学)※ヴァイオリン独奏
ポラリス保健看護学院学生有志
星総合病院職員有志

7月21日(日)

●記念講演会を開催

島根大学医学部小児科教授の山口清次先生をお招きし「健やかな子育て環境を目指して～子供のからだと心のビタミン～」をテーマにご講演いただきました。



●ポラリス保健看護学院新校舎内覧会

地域の皆様にも、新校舎の特徴や機能についてご覧いただきました。



ポラリス保健看護学院 新校舎のご紹介



調理実習もできる総合演習室



講演会や音楽を通し看護職としての豊かな感性を育成するメグレスホール



看護実習室。実際の医療現場を模した各種の擬似環境を備え、より実践的な実習が可能



在宅看護実習室。ガラス張りで四方から浴室やトイレを見る事が可能



廊下側がガラス張りで開放的な教室



看護学生および病院職員の図書室機能を兼ね備えたライブラリー



惜別 故星 一雄会長

当法人の星一雄会長が、8月31日にご逝去されました（享年83歳）。

当法人創設者である星一郎の意志を受け継ぎ、地域医療の充実、当法人の運営と発展に大きく尽力されました。

9月7・8日にメグレズホールにてお別れ会を執り行い、医療関係者や職員等約1,600名が参列しご冥福をお祈りしました。

惜別 星一雄君（昭29）を悼む

佐藤 泰雄

医療法人社団桐藤会 佐藤内科診療所（横浜市）理事長
（東京慈恵会医科大学卒業）

平成23年3月11日の東日本大震災は君の住む郡山市の星病院にも甚大な被害を与えた。君はその7～8年前に小脳出血で倒れ、一時軽快したが、当時は寝たきりになっていた。何回電話しても通ぜず、半年後やっと君の自宅に電話した所奥様が出られて取次いでくれた。君はまわらぬ口で懸命に喋ってくれたが、段々と息苦しそうになったので、御大事にと云って終わったのが君と交わした最後の会話となった。

私達は昭和22年4月に定員80名受験者2,000人の難関を突破して入学したが、君は入学式の時にちらっとみた位で教室ではあまり見えなかった。ある時君はふらっと現れ、持っていたキュービズムの画集を借してくれた事があり、その時初めて会話を交わしたように思う。后で君が話してくれた所では、慈恵と共に美術学校にも入学し二股かけて通学していたらしい。流石にそれでは進級は難しく、一年でやめたらしい。

又きっかけは忘れたが、学期末試験が近づくと君は我家に泊まりこみ一緒に試験対策をした。君は人とのつきあいが上手く、私の父母にも可愛がられ、父は試験シーズンが近づくと星君は何時くるかと私に訊き、母はあの人とはまともにやれば大した大物になると誉めていた。

目度く昭和29年3月に卒業してからは二人共大学病院に残ったが、科も違いお互い忙しくもあり、集まって飲む機会はありませんでした。併し君は在学中に良き伴侶に恵まれやがて御尊父の隠退と共に郡山に帰られた。

帰郷後の君の活躍は目を見張るものがあつた。精神科主体の星ヶ丘病院を造り、本院を新築し、三春町立病院の経営を委嘱され、又介護保険が発足してからは夫々に介護老人保健施設を造り、保健看護学院等を含めて十以上の施設を管理していた。又多忙の合間に郡山チャール会をつくり、慈恵の福島県支部長を永く勤められ、同級会の郡山での開催を2回もやってくれた。又、私達29年卒の卒業50周年誌には表紙を画いてくれた。昭和50年代では正月15日に我家に集まって近藤君や亡くなった高橋君等と酒を酌み交わした。又星病院の新築や創立何十年等の節目に記念会パーティーを盛大に開き其都度呼んで頂いたが或時郡山の市長さんと同席した。郡山は公的病院がなく、4つの大きな個人病院が競合協調してやってくれるので市立病院を造る必要がなく、市の財政上大いに助かっているとの話だった。更に圧巻と思ったのは、市民講座に当時の阿部正和学長に講演を御願ひし郡山市民に大きな感銘を与えた事だろう。

平成25年1月に星総合病院は駅近くに壮大な病院を造られ、9月に君のお別れ会もそこで行なわれた。しかし福島の大震災による傷は尚深い。

この時期に君のような乱世に強い男を失った事は一大痛恨事である。併し嫡子北斗先生をはじめ多くの優秀なスタッフが残されている。

皆様の御健康と御健闘を祈ってやまない。

慈大新聞 第708号より転載

惜別 先輩 星一雄先生

日野 原 正

獨協医科大学 名誉教授
（東京慈恵会医科大学卒業）

星一雄先輩は、人の和を紡ぐ人、琴棋書画の人、破天荒で洒落な粹人であった。

昭和31年、私が佐藤重一教授の主宰する耳鼻咽喉科に入局した時に先輩に親しく迎えられ、また昭和49年4月、獨協医大に赴任して郡山の星総合病院に週一回診療に伺い、この半世紀にわたって先輩の警咳に接する度ごとに、さらにその感を強めてきた。

人の和を紡ぐ人 耳鼻科医局にあって、先輩独特の術とユーモアで常に人を和ます才は、余人の真似できないものであった。殊に大学同窓の親睦会を二度にわたって郡山熱海の老舗の“一力”に招いての豪華一夕の宴は、級友の信頼あつての“和の実践”であった。

琴棋書画の人 中国の知識人の嗜みは「琴棋書画」といわれ、先年訪れた台北の故宮博物館にはその一室があった。星先輩は興が乗ればタップを踏み、囲碁はプロ棋士を招いて精進、そして書画を日常とする文人墨客の人でもあった。その見事な味のある書は、病院正面に掲げられた「星総合病院」として不滅であり、漢詩を作られては同僚を瞠目させた。

また油絵は、郡山市チャール会会員として、郡山駅頭のギャラリーでその非凡な才を問ひ、同窓会誌の表紙を二度にわたって飾り、永久保存版となっている。

破天荒で洒落な粹人 東京渋谷の大橋にあった大学予科は旧陸軍の跡地であり、荒れた校庭でラグビーに青春を発散した先輩を遠くから羨望、また入局後折にふれて見せた言動は横浜人の交遊の域を脱していた。

昭和36年に第7回国際耳鼻咽喉科学会議がパリで開催された折、独りロンシャンの競馬場に赴いて大枚(?)の馬券を買った、才覚は私にはなく、国定忠治を生んだ上州人の気質の入った私の肝を震撼ならしめた。

先輩に接して半世紀、陸奥の地にこのような破格な粹人にまた相見えることは絶無であり、白河以北の碧天に輝き続けた雄大な一等星が、8月尽以来その曙光を消した。以来三ヵ月、今私は北天を眺めることをためらい、その勇気を失っている。

ここに、一詩を献じて長の謝恩と暫しの別離とする。

追悼 畏友星一雄先生

半世紀 燦然たりし北天一等の星 共に学ぶ三霜 大橋予科の厩舎・荒庭
八月尽 光芒一閃 低空をよぎり 供に切瑛琢磨 佐藤耳鼻咽喉科の学窓
西方浄土に向かい 緩やかに着地す また相見えるなき 鬼才琴棋書画の雄
白河以北 冥冥として歩す能わず 畏友那辺にありや 空しく北天を仰ぐ

平成25年10月7日

慈恵医大耳鼻咽喉科学教室年報 平成24年度(2012年)より転載

第84回集談会

平成25年11月7日 場所：メグレズホール

当法人では、職員と地域医療機関の先生方が最新の医療を学ぶ場として、また職員の日頃の研究成果の発表の場として年に2回集談会を開催しています。

今回の特別講演は福島県立医科大学 医学部 眼科学講座教授の石龍鉄樹先生をお招きし、「眼科医療の最前線」をテーマにお話し頂きました。

また一般演題発表では、各施設各部署の職員により計11題の取り組みが発表されました。



《一般演題》 総合司会 小児科 加藤 一夫

◎座長 看護部 佐藤貴美子

- | | | |
|--|----------------------|-------|
| 1. 家庭訪問を実施してみて | 介護老人保健施設オリオン
デイケア | 橋本 陽子 |
| 2. 精神科急性期病棟における入院の現状
ー退院困難事例に焦点をあてー | 星ヶ丘病院
総合相談・地域連携室 | 松原 弘子 |
| 3. 園芸活動が社会復帰病棟患者の生活技能に与えた変化 | 星ヶ丘病院
リハビリテーション科 | 加藤 友設 |
| 4. ラクナ梗塞における症状増悪者の特徴と早期離床 | 星総合病院
リハビリテーション科 | 竹内 玄德 |

◎座長 臨床工学科 菊地 康昭

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|-------|
| 5. 不規則抗体カードの有用性 | 星総合病院 中央検査科 | 角田 淳子 |
| 6. 1.5TMRI導入後の現況と新しい取り組み | 星総合病院 放射線科 | 阿部 祐也 |
| 7. 当院における電気自動車の急速充電器が心臓ペースメーカーに与える影響 | 星総合病院 臨床工学科 | 嶋原 哲史 |

◎座長 整形外科 遠藤 康二郎

- | | | |
|--------------------------|---------------------|-------|
| 8. 心臓リハビリテーションの効果 | 星総合病院 循環器内科 | 坂本 圭司 |
| 9. 新病院におけるリハビリパークの活用について | 星総合病院
リハビリテーション科 | 横堀太嘉志 |
| 10. ミトコンドリア病が疑われた一例 | 星総合病院 臨床研修医 | 小橋亮一郎 |
| 11. 緩和ケア病棟の現状と展望 | 星総合病院 緩和医療科 | 関 茂樹 |

《特別講演》 座長 眼科 平井 香織

演 題 「眼科医療の最前線」

福島県立医科大学 医学部 眼科学講座 教授 石 龍 鉄 樹 先生

(公社) 日本看護協会認定 認定看護師が新たに2名誕生

公益社団法人日本看護協会では、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師を認定する「認定看護師」制度を設けています。現在21の認定分野があり、当法人では10分野計10名の認定看護師が活躍しております。

今年度に誕生した認定看護師2名をご紹介します。

○緩和ケア認定看護師

星総合病院 緩和ケア病棟 久保木優佳さん



がんになっても「その人らしく生きる」ことを支えたい

がんと闘い続け、たとえ治療法がなくなっても、人生は終わりではありません。患者さんがその方らしく人生の時間を大切に、穏やかに、あるいは精一杯過ごすことができるよう、痛みなどの辛い症状をコントロールしたり、生活する場の調整のお手伝いをしたり、時には不安で押しつぶされ

そんな気持ちに寄り添ったり…。そんなケアを通して患者さんやご家族と日々関わっています。

緩和ケアはがんが診断されたその時から受けられるケアであり、終末期に限定されたものではありません。院内の患者さんやご家族、地域の皆様に「緩和ケア」を正しく理解していただくための活動にも力を入れています。

○慢性心不全看護認定看護師

星総合病院 3ST病棟 李 民純さん



心不全の患者さんのQOL向上のために何ができるか個々の患者さんと共に考え支援したい

循環器疾患の中でも心不全患者は増加傾向にあり、再入院率も非常に高いことが問題となっています。再入院を防ぎ、生活の質を向上するためには、患者さんが生活の中で折り合いをつけ、セルフケアしていく必要があります。心不全患者さんが「自分で生活の編み直し」ができるように、多職種と協働して支援していきたいと思っています。

当法人の認定看護師（認定分野）

皮膚・排泄ケア、がん性疼痛看護、感染管理、乳がん看護、がん化学療法看護、訪問看護、認知症看護、集中ケア、緩和ケア、慢性心不全看護

星総合病院 認知症疾患医療センターの運営をスタート

星総合病院は福島県の委託を受け、平成25年8月1日より「認知症疾患医療センター」の運営を開始しました。認知症の早期発見、早期対応体制の強化を目的としています。

県内では竹田総合病院(会津若松市)、舞子浜病院(いわき市)、当院(星ヶ丘病院の機能と合わせ)の3病院が委託を受け当事業を行っています。

当院では、総合相談・地域連携室に専用電話を設置、石原哲也神経内科部長をセンター長とし認知症看護認定看護師、臨床心理士、精神保健福祉士等が連携して、専門医療が必要な認知症疾患患者や家族へのサポートを行っています。

星総合病院 認知症疾患医療センター

電話：024-983-5529

受付：月曜日～土曜日
(木曜日の午後、第三
木曜日全日、日曜日、
祝日、年末年始を除く)
午前9時～午後5時

星総合病院

県民健康管理調査 甲状腺二次検査 の実施医療機関です

星総合病院では、平成25年7月24日より県民健康管理調査に係る甲状腺二次検査をスタートしました。

甲状腺二次検査は、原発事故当時18歳以下を対象とした甲状腺検査において、二次検査を勧められた方(「B判定」と判定された方)を対象としており、甲状腺超音波検査、血液検査、尿検査、場合によって穿刺吸引細胞診を行います。

当初は福島県立医科大学のみで実施していた二次検査ですが、7月より福島労災病院(いわき市)と当院を含む計3施設での実施が可能となりました。拠点病院が増えたことで、対象者がより早期に受診できることが期待されています。

* 星総合病院へ直接のご連絡による予約はお受けできません。
お問い合わせは以下までお願いします。

【甲状腺検査に関するお問い合わせ先】

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話番号 024-549-5130 (9:00～17:00 土日・祝日を除く)



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会 平成25年度 第2回地域フォーラム 開催

メグレズホールにて9月22日、日本医療機能評価認定病院患者安全推進協議会地域フォーラムを開催しました。

同協議会は、医療機能評価機構の認定病院の有志が主体となり、患者安全の推進を目的として平成15年に組織化。現在、全認定病院の約59% (約1450病院) が参加しており、全国各地で「地域フォーラム」が行われています。今年度2回目となる今回は、星総合病院が幹事病院を務め「医療安全におけるシミュレーション教育の効果」をテーマに開催しました。

安全教育に焦点を当て、講演やパネルディスカッション、全体協議が行われました。県内外の医師、看護師、薬剤師、医療安全管理者など約200名が参加し、医療安全教育の質向上に向けた取り組みについて理解を深めていました。



テーマ「医療安全における シミュレーション教育の効果」

◆基調講演

座長：橋本 進生
(公益財団法人
日本医療機能評価機構
執行理事)

基調講演

「医療人シミュレーション
教育の意義と展開」
石川 和信

(福島県立医科大学
医療人育成・支援センター 准教授)



◆パネルディスカッション

テーマ：「医療安全におけるシミュレーション教育の効果」

座長：長谷川 剛(自治医科大学附属病院 医療安全対策部 教授)

講演①「地域の医療安全～ポラリス構想～」

星 北斗(公益財団法人星総合病院 理事長)

講演②「医療安全を目的とした
シミュレーション教育の現状と効果」

大森 正樹(国家公務員共済組合連合会シミュレーション・
ラボセンター ラボマネージャー)

講演③「シミュレーションによる緊急時対応」

及川 千代(東北大学病院 医療安全推進室 副室長)

講演④「テルモが考える医療安全のための医療者教育支援
ーシミュレーショントレーニングの活用ー」

星野 早苗(テルモ㈱ ホスピタルカンパニー
クリニカルサポートチーム リーダー)

全体協議

施設ニュース

星 総 合 病 院

市民公開講座

第3回緩和ケアネットワークの集い 10月12日

メグレスホールにて、緩和ケアについての市民公開講座を開催しました。

星総合病院緩和医療科の関茂樹部長、久保木優佳緩和ケア認定看護師、坪井病院看護部長の清水千世様による緩和ケアの実情に関する講演のほか、緩和ケア病棟患者さんのご家族による体験談の発表もありました。一般市民約120人が参加し、熱心に耳を傾けていました。



おもちゃのプレゼントをいただきました

郡山市にお住まいの志賀隆夫様より小児病棟プレイルーム「マニユライフわくわくるむ」へ月に一度、手作りのおもちゃがプレゼントされています。駒やミニシーソー、食べ物など種類も豊富で、丁寧に安全に作られたおもちゃからは温もりが伝わってきます。「子供たちに喜んでもらえることが自分自身の元気につながっています。次はどんなおもちゃを作ろうか、考えるのが毎回楽しみ」とのこと。素敵な贈り物をありがとうございます。



星 ケ 丘 病 院

星ヶ丘フェスタ2013 10月26日

「心をつなごうハイタッチ」をテーマに、うつくしま連による阿波踊り、辻フラスカールのフラダンスショー、患者さんによる合唱、大抽選会などを行いました。焼きそばや焼き鳥などの出店も好評で、参加者は賑やかで楽しいひとときを過ごしました。



三春町立三春病院

第4回 みはるフェスタ

9月28日

田村高校合唱部によるミニコンサートがオープニングを飾り、三春レディバグズダンスクラブや三春町敬老園によるダンスが披露されました。

また雷クリニック 院長 雷毅先生をお招きし、「胃と腸のはなし」をテーマにご講演頂きました。

健康チェックコーナーや模擬店、バザーも大いに賑わい、地域の方々との絆を改めて実感するイベントとなりました。



介護老人保健施設オリオン

家族介護教室

5月18日

施設入所者への関わりに対し、ご家族と施設職員が共に理解を深める「家族介護教室」を開催しました。今回は、『認知症とコミュニケーション』をテーマにケアマネジャーの国分広美さんが講話を行いました。

参加者から、「相談をすべき場所がなかった」「このような時間を設けてもらいがたかった」などの貴重な意見を頂戴しました。



養護老人ホーム三春町敬老園

敬老会を開催

9月18日

75歳以上の61名が招待され、三春町長の鈴木義孝様より、敬老祝い品並びに祝い金が贈呈されました。松蔚流舞扇会の皆さんによる祝舞も披露され、入園者の皆さんの長寿をお祝いしました。



ポラリス保健看護学院

第15回 北極祭

9月21日

新校舎で行う初の北極祭となった今回は、「新星～受け継がれる意志～」をテーマにマタニティピクスやヘルシーカフェなどの新たな試みや、白衣体験やハンドマッサージ、健康教室など授業での成長を活かした体験も行いました。

お昼時には露店に行列もでき、大盛況の中、一般公開を終了しました。



骨盤ゆがみチェックコーナー

うねめ踊り流しで準大賞を受賞

8月3日

学生、教員、及び職員有志がうねめ踊り流しに参加しました。

揃いの法被で息の合った踊りを披露し、見事準大賞を受賞しました。



トピックス

公益財団法人星総合病院 寄附募集のご案内

公益財団法人星総合病院は、法人設立の目的である「地域の必要とする救急医療・高度医療並びに介護・福祉事業の提供を以って地域の公衆衛生の向上に資すること」を推進するにあたり、皆様からのご寄附を受け入れております。皆様からの貴重なご寄附は、高度・専門医療機器等の整備や患者様のための病院環境整備、健康教育など公益法人としての様々な事業に有効に活用させていただきます。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

当法人は、税制上の特定公益増進法人に該当し、当法人に寄附金をいただいた場合は税制上の優遇措置を受けることが出来ます。

*ご寄附金は、金額に関わらずお受け致します。
(領収書を発行致します。)

*車いすなど物品のご寄附もお受け致します。

ご寄附の申込みについて

当法人への寄附をご希望される場合は、お電話にてご連絡いただくか、当法人ホームページより申込書をダウンロードし記入の上、FAXか郵送にてご送付下さい。折り返し事務局よりご連絡申し上げます。

ご寄附の紹介

(敬称略、順不同)

平成25年1月～平成25年12月

【寄附金】 計34件

大野藤一様、株式会社宝来屋本店様
サンペンディング東北株式会社様
安積電気通信興業株式会社様
社会福祉法人福島いのちの電話様 その他29件

【寄附物品】 計8件 〈車椅子、絵本、iPad 等〉

※氏名等は、ご本人のご意思を確認の上、公表させていただきます。

お問い合わせ先 公益財団法人星総合病院 公益事業推進室 ☎024-983-5511(代)

メグレズホール 好評

星総合病院隣接地に移転新築したボラリス保健看護学院1階の「メグレズホール」は、7月のグランドオープンでのお披露目以降、同学院学生や当法人職員はもちろん、地域の様々な方々にご利用いただいております。

北極祭や合唱祭等ボラリスの様々なイベント、職員の勉強会、当法人主催の研修会やコンサートをはじめ、学会の開催や地域の小中高生の音楽の練習の場としても広く活用されています。

「こぐま座☆コンサート」スタート

音楽を通し地域の皆さんの文化交流の場としていくことを目指した当法人主催のコンサートが始まりました。著名な方々にご出演いただき好評を博しています。

ホールでの各種催し物は全て入場無料です。今後のイベント情報は、随時ホームページやFacebookでご案内します。



「こぐま座☆コンサート」のご案内

入場無料でどなたでも鑑賞可能です。
多くの皆様のご来場をお待ちしております。

「ピアノとファゴット」

～世界で愛される小品名曲コンサート～

日時：平成25年1月12日(日)

開場13:30/開演14:00

場所：メグレズホール

出演：藤井 恵さん (ピアノ)

荒井 渉さん (ファゴット)

*郡山市出身

お車で越越しの際は、星総合病院駐車場をご利用ください。

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／「懸虹」編集委員会

発行日／平成25年12月27日

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 **星総合病院** HP <http://www.hoshipital.jp>

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号

TEL 024-983-5511

星総合病院 在宅介護支援センター

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号

TEL 024-983-5515

ほしのご保育園

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地

TEL 024-952-6411

星ヶ丘訪問看護ステーション

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地

TEL 024-962-1711

居宅介護支援事業所星ヶ丘

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地

TEL 024-952-6414

星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号

TEL 024-951-0788

●介護老人保健施設オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字筆三天2番地

TEL 024-952-6413

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50

TEL 0247-62-3131

●ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36

TEL 024-956-7778

星訪問看護ステーション

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36

TEL 024-956-2322

芳賀・小原田地域包括支援センター

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36

TEL 024-941-1121

●養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1

TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号

TEL 024-983-5010